最上川河川公園の再整備を軸とした地域社会の再構築への支援
～　自然を愛し、野鳥を愛し、水と親しむ場の創出　～

最上川河川公園は、昭和４８年から整備を行い、現在６３ｈａを河川公園として供用中です。この公園は四季折々の観光・イベントなどで年間８６万人の人々でにぎわっており、市民や利用者にとって愛着のある空間となっています。

また、市民や利用者による清掃活動、小中学生による花壇への植栽や利用者の協議会による利用マナーの向上、環境保全の啓発なども行われています。

このたび酒田市において、市民アンケートなどを基に再整備の構想をとりまとめ、これまで以上に利用しやすく、魅力ある空間として再整備していくこととしております。

このため酒田河川国道事務所では、河川維持修繕事業として、堤防や施設の補修など安心安全の確保や周辺環境の保全を図りながら行っているものに加え、利便性や防災上の有効活用などにも考慮した整備内容とするなど、これまで以上に地域づくりを優先化、重点化し、積極的に支援をしながら、酒田市や地域住民、利用者などとともに、協働で取り組んで行くものです。





地域社会の再構築にむけて、地域と河川管理者が協働

目標：自然を愛し、野鳥を愛し、水と親しむ場の創出

地域社会（行政・市民・利用者等）
≪熱意・努力≫

・市民・河川利用者による清掃活動
・マリンスポーツ協議会による、河川利活用上のマナー向上、環境保全の啓発
・小中学生による、スワンパークへのマコモ植栽（白鳥の好物）、花壇への植栽
・グラウンドゴルフ場、駐車場、簡易水洗トイレの設置・管理







協働実施

河川事業（河川管理者）
≪支援・貢献≫

・周辺環境の維持管理（除草・塵芥処理）
・弾力的な高水敷占用の許可
・河川利活用上の安全性・利便性の確保
・安心・安全の確保（堤防・護岸の補修）
・環境学習フィールドの整備

・回遊機能の確保
（管理用通路、階段の整備）

平成18年度実施予定

